

278	Yちゃんとの出会いです。肢体不自由児、言語は1才ぐらい、そして食事は鼻からの経管栄養の生徒を3年間関わって、今まで自分が無知であったことを知り、自分自身、学びの大切さを教えてもらいました。そして関わりのなかから、生命の尊さ、ひとを大切にすることとはなど考えさせられ、今の自分があると思います。また、Yちゃんにつながっていた生徒たちからも、いろんなことを抱えながら、頑張っていること、表面上だけでみたらいけないことを教えてくれた、そんな子どもたちが心に残っています。			279 ロッカーの上で寝出す五年生男子 赤い薔薇一本を絵に描いてくれる小3男子	280	現在の勤務校ではありませんが、転勤する際の野球部の最後の練習試合の出来事です。ずっとホームランを打てるようになりたいと言っていた生徒が、最後の練習試合でホームランを打ち、感動を与えてくれたことが心に残っています。
281	小学校のころいっぱい家庭訪問してお話ししていた子が高校生になり、今は旦那が担任をしています。大きく遅く育ててくれて安心しました。	282 真面目にコツコツと学習に取り組む生徒が、心に残っています。	283	早退した時にかけてくる電話がとても礼儀正しいこと。お大事に!とかお伝えします!という、必ずありがとうございますという言葉が返ってきます。	284	卒業に向けて自分達で話し合い、学校の思い出を写真にとりスライドショーを一緒に作った。
285	大縄が跳べない児童が跳べるようになった時一緒に喜んでくれる子どもたちがステキでした。	286 朝、迎えに行くとても嬉しそうににっこり笑ってあいさつしてくれた、小さな小さなクラスのお友だち。もう会えなくなってしまいました。今でもあの笑顔を思い出すと温かい気持ちになります。	287	当校の生徒は皆挨拶がしっかりしています。	288	ある中学三年生のクラスを担当したときのこと。そのクラスはたいへん団結力があり、卒業前に「3年生を送る会」において、在校生へのお礼の出し物として、自分たちで作詞作曲した歌をうたったこと。仲がよく素敵なクラスでした。